

地震・津波対策に関する補助金について

令和6年1月1日に能登半島地震が発生し、また4月17日には宇和島市でも最大震度5強を観測した豊後水道を震源とする地震により、多くの住宅被害が発生しました。近い将来、南海トラフ地震の発生が予想されており、日頃から、個人の力で災害に備える（自助）とともに、地域での助け合い（共助）による地域の防災力を高めておくことが重要です。

自助・共助による地震・津波対策として、家具転倒防止対策や津波緊急避難路整備等の補助金を活用いただき、地域ぐるみで防災・減災に取り組みましょう。

宇和島市家具等転倒防止対策支援補助金 **補助額・補助率UP**

補助対象者	補助額（最大）	補助率
高齢者世帯等（※1）	13,000円	9/10
上記以外の世帯	13,000円	2/3



事業内容

- ▶ 対象者
市内に住所のある世帯（1世帯1回限り）
 - ▶ 申請者
自主防災組織等
 - ▶ 対象経費
家具や家電製品の固定器具等の購入費（ガラス飛散防止フィルムを含む）
- 家具等の固定器具等の設置は、防災士がお手伝いいたします。

（※1）高齢者世帯等とは

- 次のいずれかの世帯に該当する世帯です。
- ①要介護度3～5の要介護認定者を含む世帯
 - ②65歳以上の方のみで構成されている世帯
 - ③身体障害者手帳所持者(1、2級)を含む世帯
 - ④療育手帳所持者(A)を含む世帯
 - ⑤精神障害者保健福祉手帳所持者(1級)を含む世帯
 - ⑥重度心身障害者医療費受給対象者を含む世帯

自主防災組織等による補助金申請等の流れ

- 1 固定器具設置等の相談
(設置希望者→自主防災組織等)
- 2 事前の現地確認
(防災士が固定器具の設置箇所等を確認)
- 3 補助金申請書類の提出
(自主防災組織等→市)

- 4 補助金交付決定
(市→自主防災組織等)
- 5 事業開始
(防災士が固定器具等を設置)
- 6 実績報告書類の提出
(自主防災組織等→市)
- 7 補助金の支払
(市→自主防災組織等)

津波緊急避難路等整備事業補助金

区分	整備内容	補助額（最大）	補助率
県補助対象分	擁壁工事以外	200万円	10/10 【100%補助】
			4/5※
市単独分	擁壁工事以外	100万円	2/3
			1/2※
	擁壁工事	800万円	2/3 1/2※

※神社・仏閣・墓地などの付帯設備に係る整備

【対象内容】

- 舗装、擁壁、手すり設置、防護柵設置
- 停電対応照明設備設置、防災倉庫設置



● 注意事項

- ▶ 市指定の津波緊急避難路が整備の対象。
- ▶ 整備後、夜間避難訓練を実施。
(整備後、3か月以内が目安)

要配慮避難者等宿泊施設利用補助金

経費	補助額（最大）	補助率
宿泊費(1名/1泊2日食事付)	5,600円	4/5
移動費(1箇所の片道当たり)	1,500円	4/5

【対象者】（②は宿泊費のみ対象）

- ①要介護度3～5の要介護認定者
- ②75歳以上の方
- ③身体障害者手帳所持者(1、2級)
- ④療育手帳所持者(A)
- ⑤精神障害者保健福祉手帳所持者(1級)
- ⑥重度心身障害者医療費受給対象者
- ⑦妊産婦、乳幼児(1歳未満)
- ⑧要配慮避難者の付き添いの方(1人に対して1人)



● 注意事項

- ▶ 避難情報が発令されている地域に居住している方が対象です。
- ▶ 利用した最後の日から30日以内、または年度の3/31のうちいずれか早い日までが申請期間です。
- ▶ 宿泊施設は指定していますので、詳しくはお問い合わせください。

宇和島市自主防災組織等防災活動補助金

事業名	補助額（最大）	補助率
防災井戸の整備	40万円	2/3
防災活動	8万円	1/2

【対象内容】

- 防災井戸の整備
井戸の掘削及びポンプ等整備
- 防災活動
防災訓練・研修、防災体制の構築 等

問い合わせ

- 市役所4階 危機管理課
電話番号：0895-49-7083
Fax番号：0895-24-6094（お間違いのないようご注意ください。）



● 注意事項

- ▶ 自主防災組織を通じて申請してください。
- ▶ 防災井戸整備後は「災害応急用井戸」の登録をお願いします。（詳しくは「市役所生活環境課」へ）

